

キャラクター名 グリード	プレイヤー名
-----------------	--------

種族	人間	種族特徴	剣の加護/運命変転		
生まれ	魔工士	性別	男	年齢	18
冒険者Lv	9	経歴	6-2 大規模な戦闘に巻き込まれたことがある		
経験点	0		3-5 平民は奴隷だと思っている		
			3-6 後継ぎとして育てられた		

		能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能		Lv.	技能	Lv.
技	7	器用度	11	10		28	4	グруппラー	9			
		敏捷度	11	9		27	4	スカウト	2			
体	8	筋力	6	2		16	2	エンハンサー	2			
		生命力	6	4		18	3	アーティザン	6			
心	6	知力	2	1		9	1	アリストクラシー	8			
		精神力	2	4		12	2					

戦闘特技		言語		会話	読文
追加攻撃	220 p			○	○
投げ攻撃	225 p				
カウンター	2120p				
鎧貫き	1B39 p				
魔器習熟A	AG43p				
両手利き	1B32 p				
魔器習熟S	AG43p				
二刀流	1B30 p				
命中強化	1B32 p				
	p				
	p				

練技/呪歌/騎芸/賦術		威厳ある風格Ⅱ	
キャッツアイ		華麗なる言の葉	
マッスルベアー			
能力値増強/+2			
威力増強/+5			
威力超増強/+10			
回避増強/+1			
C値増強/-1			
C値増強/-1			
防御陣形			
秘めたる博識Ⅰ			
超然たるまなざしⅠ			
気高き振る舞いⅠ			
超然たるまなざしⅡ			
威厳ある風格Ⅰ			

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グруппラー	9	13	13	11
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点		
鎧	カタライズクローク		1	3
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	グруппラー	合計値	13	3

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ルミナスナックル	1H	7	1	2d+ 16	10	11	17										
ルミナスブーツ	1H#	11	-1	2d+ 14	10	11	31										
呪印: 「k+5」 「k+10」 「C-1」 「C-1」																	
呪印: 同上																	
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3	27	81	2d+	13	47						

装備品		説明	
頭	耐魔の魔紋	5点ストップ	
耳	耐魔の魔紋	5点ストップ	
顔	俊足の魔紋	敏捷度+1	
首	ポーションインジェクター	デクスタリティポーション詰め	
背中	セービングマント	判定失敗時、被る魔法ダメージ「4」軽減	
右手	正しき信念のリング	常に精神抵抗力+2	
腰	巧みの魔紋	器用度+1	
足	耐魔の魔紋	5点ストップ	
その他	巧みの魔紋	器用度+1	
左手	アーティザンリング	呪印: 「器用度」「敏捷度」「筋力」+2	

その他メモ	自動失敗 チェック
出自: 男爵家	□□□□⑤
「僕に自己紹介をしるって?なんでさあ、いきなり、僕にそんなことを言うのかなあ。普通さあ、人のことを知りたいなら自分のことから話すのが常識だと思うんだよね?そんなことも察せないというのは、とてもとても欠陥がある人物なんだね。そうか、だから、僕にいきなりそんな態度で、自己紹介を求めてくるんだね。理解はできたけど、その行為は少しいだけ、そう、少しだけだめだと思っただよ温厚で無欲な僕だから何も言わないで上げるけど、他の人だったら、どうなったかわからないよ?だって、いきなり人に要求を突きつけることは、あってすぐに、相手を下に見て、命令をすることと同義だと思うんだよね。それは、他社の権利を蔑ろにしている。そう、今、僕は君に僕のたった少しの私産を、権利を蔑ろにされたんだよね。まあ、僕はグリードっていう名前だから強欲ってよく言われるけど、全然そんなことないよね?そついうさあ、名前だけで人を判断するのいけな思っただよねえ。さて、僕は名乗ってあげた。次は君の番だね。僕は無欲で温厚だから緊張をほくしてあげるために自分から自己紹介をしてあげるんだ。優しいねえ。そう、こういう風に誰もが相手を尊重できれば素晴らしい社会が生まれるのに!君もそう思わないかい?」	□□□□⑩ □□□□⑮ □□□□⑳ □□□□㉑ □□□□㉒ □□□□㉓ □□□□㉔ □□□□㉕

